

| 特集1 | 学長×学生広報スタッフ 座談会

| 特集2 | 工学部創立100周年 100年の歴史を、次の世代へ



| 人物発掘 | 大学院総合研究部医学域
臨床医学系内科学講座
腎臓内科学教室 中島歩教授

| ゼミ紹介 | 工学部応用化学科 桑原研究室

| pick up Lesson | 土壌学実習

| クローズアップビープル | 林田 俊 (教育学部言語教育コース3年)
小澤 菜緒 (医学部医学科4年)

| サークル紹介 | 女子蹴球部 軽音学部
医学部美術部 医学部準硬式野球部

| UNIVERSITY OF YAMANASHI NEWS & TOPICS |

学長 × 学生広報スタッフ 座談会

テーマ 地域の中核、世界の人材



生命環境学部地域社会システム学科3年
青木 愉太

生命環境学部地域社会システム学科3年
竹井 愛

生命環境学部地域社会システム学科3年
堀井 麻矢

山梨大学学長
中村 和彦

教育学部
障害児教育コース3年
小池 朱里

医学部看護学科2年
藤森 日奈子



本学のキャッチフレーズでもある「地域の中核、世界の人材」について、広い教養と深い専門性を身につけ、知と技術における「地域の中核」となり、世界の問題を解決する「世界の人材」となるために、今学生に必要なこととは？
学生広報スタッフからの質問に中村学長がこたえます！

テーマについて質問！

必要なスキルや能力は？

青木：私たちが地域や世界の課題解決に取り組むために、身につけるべきスキルや求められている能力はなんですか？
中村：一番大切な能力は「積極性」だと思います。自分が見たり聞いたりしたことに対して疑問に思ったことや意見を、積極的に発言していくことが大事です。これは、学生時代だけでなく、社会に出ても必要な能力となります。



課題発見や行動力向上には？

藤森：課題発見力や積極的な行動力を高めるためには、どうしたらいいですか？
中村：まずは、いろいろな人と関わることが大事です。その他にも、いろいろな本を読んだり、たくさんの人の講演を聞いたりしていく中で、課題発見力や行動力は身についてくると思います。もちろん聞くだけでなく、自分の考えを話していくこと、疑問に思ったことを質問していくこともとても大事です。
藤森：力を高めるために、人との関わりは大切だと感じました。普段関わって

いる友達やアルバイト先の方との関わりも大事にしていきたいと思っています。
中村：人と関わる中で、相手の気持ちになって考えるということがとても大事だと思います。私もいろいろな方との関わりの中で学んできました。人の気持ちを通して行動できる人は、素敵だと思うし、力をつけていける人だと思います。もちろん人と関わっていけば失敗もあります。自分が発した言葉で相手を傷つけることもあります。でもその経験も大切なことで、そこから学び、積み重ねていくことで、自然と力は身についていきます。



地域に関わるためには？

竹井：学生が地域の活性化に参加するために、今後その機会やプログラムを増やしていく予定はありますか？

中村：まず、私が学長になって感じたことは、地域の方々が山梨大学がなにをしているかを知らないということです。教職員だけでなく、学生も山梨大学の魅力をもっと地域にアピールしていったらいいと思います。そこで地域の課題を知り、みんなで考えていくことが大事だと思います。



Takei

山梨大学は現在、山梨県立大学と連携していますが、他の大学や県・市町村、企業とも連携し、いろいろな観点から課題を解決していくという枠組みを作ろうと考えています。そこには、学生が関わる機会を多くつくっていきたくと思っています。

竹井：私も企業や団体と一緒に活動するプロジェクトに参加し、冊子作成などを通して地域に伝えていくことをしています。

中村：そういう活動は大事ですね。学生広報スタッフの皆さんをはじめ山梨大学の学生には、ホームページ、SNS、TV番組などを通して情報を発信し、地域の方々にもっと山梨大学のことや、学生が行っている活動を知ってもらい、地

域の方々と一緒に活動をしてほしいです。大学の中での勉強だけでなく、地域から学ぶこともたくさんあります。ぜひ、積極的に地域の方々に関わってください。

グローバル人材とは？

小池：グローバル人材とは、どのような人だと思いますか？

中村：広くいろいろな観点で物事を見られる人だと思います。そのためには、大学の中で学ぶことだけではなく、海外に行き、日本や自分自身のことを外からの視点で見つめ直すことがとても大事です。今後も大学として支援していくので、ぜひ多くの学生に海外に行っていただきたいです。

学長のプライベートについて質問！

大切にしている言葉は？

堀井：大切にしている言葉や思いはありますか？

中村：一番大切にしている言葉は、『至誠惻怛』という言葉です。本学出身でノーベル生理学・医学賞を受賞された大村智先生から教えていただきました。

「人の気持ちを思い、人の心を慮りながら、一生懸命に誠意を持って物事にあたるのが、世の中をよくしていき、自分自身の生き様に繋がる」という意味の言葉で、とても大切にしています。



Horii

もう一つ、今年大切にしている言葉は、「創造の『創』』という一文字です。本学の歴史や伝統を大切にしながら、足りない部分や、伸ばしていく部分を変えていきたい、創っていきたくと思っています。

大学時代に熱中していたことは？

小池：山梨大学出身である学長が、大学生の時に熱中していたことはなんですか？

中村：中学生の時、公民の授業で教科書を使わず、社会の問題や課題を自分たちで調べて、プレゼンテーションをする授業がありました。私は、当時問題となっていた公害をテーマとし、特に「水

俣病」に興味を持ち、高校・大学時代には、水俣市へボラン

ティアに行ったり、専門の本を求めて東京へ行ったり、専門家の話を聞きに東京大学の自主公開講座に参加していました。公害に対して自分にできることはないかとずっと思っていました。そういう意味で熱中していたことですね。それがきっかけで保健体育、特に健康教育が私の専門になりました。



Koike

この記事の撮影を担当しました



教育学部生活社会
教育コース4年
中澤 僚太

学生へのメッセージ



良い大学を創っていくためには、教員と職員、更には学生も一緒になり「教職学協働」で、「愛学心」を持って大学をよくしていきたいという気持ちを大切にしてほしいです。学生の皆さんに山梨大学で学んでよかったと思ってもらえるような、心の隅の宝物となってこれからの人生を歩んでいけるような、そんな大学にしていきたいと思っています。

山梨大学学長 中村 和彦

学生広報スタッフとは？

本学に在籍する学生が教職員と協働し、大学の広報業務にスタッフとして従事することにより、その活動を通して、大学運営に対する学生の意見を反映させ、さらに自身の成長にも繋げることを目的としています。今年度は、応募があった1年生から4年生の学部生14名が令和5年10月6日に任命されました。

山梨大学工学部 創立100周年 100年の歴史を、

写真で振り返る100年のあゆみ

Now

Long ago

講義風景



1938年頃

上から見た工学部



1949年頃

武田通り



1965年頃

工業会館



1969年頃

1924年
山梨高等工業学校

1939年

1944年
山梨工業専門学校

1949年
山梨大学工学部

1965年
修士課程設置

1969年
工業会館竣工

1992年
博士課程設置

2002年
旧山梨大学と
旧山梨医科大学が統合

2024年
創立100周年

100周年記念事業

1. 創立100周年記念ホール等の設置

学部の枠を越え、大学の枠も越えた幅広い人々が集う場所として、新棟の建設を予定しています。



2. 中央東門と周辺環境の整備

旧校舎の玄関部分を活用した東屋へのアプローチにかけ、工学部のシンボリックな存在であるエリアの環境整備を計画しています。



3. 記念式典等各種事業の実施

地域関係者の皆様をはじめ、山梨工業会及び本学に関する皆様にご参加頂けるよう各種事業を計画しています。令和6年秋開催予定の記念式典のほか、カウントダウンイベントや記念ウィスキー・ワインなど、今後記念事業特設サイトにて随時情報を発信してまいります。

次の世代へ

山梨大学工学部は、大正13年(1924年)設置の山梨高等工業学校に始まり、幾度もの変革の中で発展を重ね、今年(2024年)、創立100周年を迎えます。

学部長インタビュー

工学部では100周年を迎える節目として新たな仕組みを設けます。具体的には、①ゼロエミッション社会実現をリードするクリーンエネルギー化学コース新設、②入学1年後に工学専門分野の選択可能な総合工学クラス導入、③ Society5.0 実現に貢献するデジタル人材の育成強化、更に④工学系女性研究者を増やすため女子枠入試導入などを通じ、新たな社会を牽引できる工学系人材を育成します。



工学部長
中山 栄浩 教授

Long ago

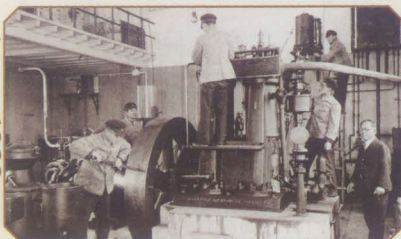
Now

1924年頃



校門

1939年頃



ものづくり 実習

1955年頃



附属 図書館

1967年頃



工学部 校舎

卒業生インタビュー



内田 美希 2020年 応用化学科卒業

100年という時を経て培ってきた学びの場に在籍できたこと、その歴史の一部として4年間を過ごせたことを、とても幸せに感じます。これからもその歴史は続き、次の100年を創る飛躍の場であることは変わらないでしょう。進化を続けていく工学部の学生であったことを、とても誇りに思っています。



刈込 喜大 2021年 コンピュータ理工学科卒業

今日のAIの発展に伴い、AIを組み合わせた工学への注目はより高まっていくと感じています。山梨県内唯一の工学部として素晴らしい研究成果と優れた人材の輩出を期待しています。学生の皆様には、先生方の指導のもと、素敵な時間を過ごせることを願っています。

創立100周年記念事業への支援

100周年記念事業に対する寄付のご協力をお願いします。詳細は、山梨大学工学部創立100周年記念事業特設サイトをご確認ください。



特設サイト



お問い合わせ

山梨大学工学域支援課

〈記念事業に関して〉055-220-8416

〈募金に関して〉055-220-8403

中島 歩

教授

大学院総合研究部医学域臨床医学系
内科学講座腎臓内科学教室

専門分野	腎疾患全般（腎炎、腎不全など）、透析
学位	博士（医学）
略歴	
1993年	修道高等学校 卒業
1999年	山梨医科大学（現 山梨大学）卒業14期生
1999年	広島大学医学部附属病院 研修医
2008年	広島大学大学院展開医科学専攻 修了
2011年	広島大学病院未来医療センター 特任助教
2017年	広島大学大学院医系科学研究科幹細胞 応用医科学 共同研究講座教授
2023年	山梨大学大学院総合研究部医学域 臨床医学系腎臓内科学 教授



学生時代は人格形成が大切です。勉強だけでなく、しっかり楽しむ。
周りの人達とたくさんコミュニケーションを取り、
関わった人達からもらった恩を忘れずにいてほしい。

幼少期から学生時代の思い出

幼少期からスポーツが好きで、小学校の休み時間はドッジボール、放課後は野球をしていました。中学校の時は、サッカーに夢中で、勉強よりも体を動かしていました。大学生になってからも、「医者になったら全力で頑張りますから、学生時代は悔いがないようにエンジョイさせてください!」と思っていました。私は、山梨医科大学(現、山梨大学)の卒業生ですが、今の梨大生は授業もしっかり受けていて「今からそんなに頑張らなくても良いんだよ」と思うこともあるほど、私はエンジョイしていました。



キルナで安藤君と

当時、同級生4人と静岡県へ魚釣りに行ったんですが、全く釣れなかったの、なぜか鹿児島県なら釣れるのではと思い立ち、その日に鹿児島県まで行ったこともあります。ちなみに、鹿児島県でも全く釣れませんでした…。

大学を卒業して10年後に、私はスウェーデンのカロリンスカ研究所に留学しました。その時に、同級生で今は山梨大学整形外科医の安藤隆君が既に留学中で、一緒にマイナス20℃以下の北極圏にあるキルナへオーロラ鑑賞ツアーに参加しました。留学先での生活のセットアップなども手伝ってくれてとても感謝しています。

そんな同級生(14期生)とは今も仲良しで、今年度から山梨大学医学部の腎臓内科に就任が決まった時は、山梨と東京で就任のお祝い会を催してくれました。私はみんなの前で「これが

山梨で活躍している同級生(14期生)と



らは山梨の医療を支える一員として全力で頑張っています。どうかよろしくお祈りします!」と挨拶しました。お互いの距離感は学生時代と全く変わってなくて、学生時代の繋がりの大切さを改めて感じました。

過去から現在の目標

私は、山梨大学を卒業後、出身地である広島県に戻り、広島大学医学部附属病院に勤めました。そこで初めて患者さんの主治医になった時に、エンジョイしてばかりだった自分の「やる気スイッ



手」が押されたように感じました。その時から「患者さんから信頼される優秀な内科医になること」を目標にしました。

研究グループを任されるようになってからは「広島大学腎臓内科教室の研究面での評価を国内のトップレベルに押し上げること」を目標にしました。多くの大学院生と一緒に研究に取り組み、10年後には目標が達成できたことを実感できるようになりました。その中でも、再生医療の研究では、間葉系幹細胞に本来備わっている抗炎症作用と抗線維化作用を飛躍的に強化する培養法を開発して、国内外の特許を取得するとともに、AMED 再生医療実用化研究事業の支援を受けて臨床試験を開始することができています。研究を開始してから15年間を要しましたが、2023年11月に初回の患者さんへの投与を安全に実施できたことで、第一段階の目標は達成されたように感じました。今後は、この治療法をさらに改善し普及させることで、透析導入患者数の減少に繋げることを新たな目標にしています。



間葉系幹細胞の臨床試験

山梨大学に赴任して

山梨大学にはとてもご縁を感じています。山梨に戻ってきて新しく目標にしたことは、山梨県民の塩分摂取量を減らし、腎不全や心筋梗塞などの発症率を低下させることです。山梨県民は塩分の摂取量が多く、慢性腎臓病や

心血管疾患を発症するリスクに繋がっています。そこで、行政と連携した「やまなし減塩プロジェクト」を企画し、県庁や県議会議事堂でも講演をさせていただきました。このプロジェクトにより、山梨県の方々の塩分摂取量が減り、腎不全などの発症率が目に見えて少なくなってくれたら嬉しいです。ゆくゆくは、小中学校の給食も塩分を少なくすることで、若い頃から減塩に慣れてもらうようにしていきたいと思っています。まだまだ目標は尽きません。



県議会議事堂での「やまなし減塩プロジェクト」講演

医師を目指した理由

父や医師であった伯父の勧めもあって、医者になることは幼少時から決めていました。小さい頃は、「人の役に立って仕事＝お医者さん」と、複雑な仕組みなどは考えずに、人の役に立つことに直結した仕事が医師だと思い、物心付いた時から医師になるんだ、それ以外の選択肢はないと思っていました。

医師の中でも大学生の時は、手が器用で体力もあったので、外科医になろうかと思っていました。そこから腎臓内科を選んだ理由は、国家試験を受ける時に内科の勉強を多くするようになり、循環動態や病気を突き詰めることが好きになったのがきっかけです。今では、腎臓内科と血液浄化療法（透析）の面白さを知り、学生にも魅力を伝えています。

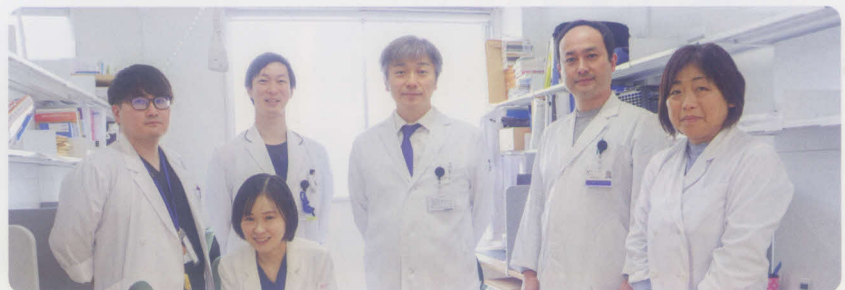
心がけていること

私が日ごろ心がけていることは、「恩を忘れないこと」「信頼される人になること」です。人との関わりの中で、数えきれないほどの恩を受けてきました。その恩を忘れず、恥ずかしくない行動を心がけています。それが信頼される人になることにも繋がってくると思います。

学生へのメッセージ

学生時代をエンジョイしてしまった私は、研修医になってから不安で懸命に勉強しました。毎朝、今日一日の予定と注意しなければならないことをイメージしてから出勤したり、教えてもらったことを全て吸収しようという気持ちで取り組みました。そうしているうちに「スーパー研修医」と呼んでもらえるようになりました。いま思い返すと、諸先輩方の知識や経験に比べると学生時代に得られる知識ははるかに小さいもので、謙虚に頑張る姿勢と報告・連絡・相談が適切にできていたこと、その姿が能力ではなく、人としての評価に繋がったものだと思っています。医学部生には、患者さんとしっかりコミュニケーションを取ってほしいと思います。その関わりの中で患者さんの思いに気づき、寄り添う気持ちを持つことで、将来素晴らしい医療従事者になれると信じています。

学生時代、本業の勉強はもちろん大事ですが、しっかりとした人格を形成していけるよう、山梨大学の同級生・先輩・後輩と、笑いあい、助けあい、励ましあうことで、生涯にわたる人間関係も構築することを願っています。



山梨大学医学部附属病院の腎臓内科スタッフ

ワクワク・ドキドキ 超分子ワールド

工学部応用化学科 桑原研究室

教授
桑原 哲夫

1994年東京工業大学大学院理工学研究科博士後期課程修了。山梨大学工学部助手、准教授を経て2021年より現職。専門は超分子化学。



様々な原子や分子の連結と集合化によりできる超分子は、子供の頃に遊んでいた積木やレゴブロックに似ています。

「超分子」って？

私たちの研究室は、有機分子でも高分子でもない「超分子」を扱っています。英語では、分子 (molecule) の頭に Supra が付いて Supramolecule となります。一般的に分子は、炭素や水素、酸素などの原子が結合 (共有結合) してできていますが、超分子は、その分子が複数集まってできた分子の集合体として定義されています。「超」が付くのは、それが単なる分子の寄せ集めではなく、分子と分子の間に弱い結合 (非共有結合性相互作用) が働き、相手の分子を認識した上で集合体を形成し、各々の分子の性能を超えた機能を発揮するためです。それは、見知らぬ人がただ集まってきた烏合の衆ではなく、例えばサッカーチームのイレブンのように、お互いの特徴を認識して最適なポジショニングができた時に、個々の能力を超えたパフォーマンスが生み出されるのと同様です。三次元空間の最適位置に配置され組織化された分子集合体は、各パーツの協同効果・相乗効果により、まるで機

械のような働きをします。2016年のノーベル化学賞 (タイトル: 分子機械の設計と合成) は、まさしくこの超分子が受賞しました。

超分子材料を開発!

私たちのグループでは、特定の分子やイオンに応答して色変化する超分子材料を開発しています。例えば、pH に応答して色変化する pH 指示薬は、溶液中の水素イオンを捕まえて構造変化することで色変化します。酵素反応や抗原抗体反応のように特定の物質 (分子) だけを捕まえ、さらに色変化する試薬は、分子を認識して色変化するので超分子型分子指示薬と呼べるでしょう。私たちは、食品や医薬品の成分安定化剤として利用されているシクロデキストリン (CD) と呼ばれる環状オリゴ糖を使って、超分子型分子指示薬の開発を行っています。これらは、環境中の微量成分や身体中の生体成分を調べるための分析試薬、検査試薬としての利用が期待されます。また、化学物質ではなく、光や熱を捕まえて色変化する材料の開

発も行っています。フォトクロミック材料、サークロミック材料として知られるこれらの材料を超分子へと進化させることで、色調や寿命などの機能制御、新機能の付与が可能となり、例えば、赤外線で見えない色を変化させる超分子型フォトクロミック材料の開発にも成功しています。

ワクワク・ドキドキを楽しむ!

様々な原子や分子の連結と集合化によりできる超分子は、子供の頃に遊んでいた積木やレゴブロックに似ています。思考を巡らせ各パーツを脱着・配置し、デザインしたオブジェを完成させます。世界のどこにも存在しない唯一無二のオリジナル作品が完成した時、そして、その作品が予想通りの、あるいは予想に反した思いがけないパフォーマンスを発揮する時、それはワクワク・ドキドキの瞬間であり、そこに超分子の醍醐味が存在します。

現在は、今年度から着任された山本結生先生もメンバーに加わり、学生さんたちと一緒に超分子ワールドを楽しんでいます。



ゼミの様子



実験の様子

土 壤 学 実 習

基本的な実験手法に加え、得られたデータで土壤診断をするための考察力を習得できます。

穴(試行)断面は
美しく!



附属農場での穴(試行)掘りの様子

担当教諭



生命環境学域環境科学科
准教授

片岡 良太

土壤学実習では…

土壤学実習は、土壤学等で学んだ内容を実際のフィールドで体験することに加えて、土壤の調査法ならびに分析用土壤試料の適切な採取方法の修得を目的としています。フィールドで採取した土壤は実験室で土壤化学性分析を行い、土壤診断の基礎を学びます。

土壤診断という言葉を使いましたが、これは私たちの健康診断と似た意味で使われています。元々、日本の土壤は酸性で痩せていると言われていました。しかし、高度経済成長期以降、多くの化学肥料が利用できるようになり、畑の土壤も様変わりしました。今では、養分過多に陥り、私たち人間で言うメタボリック症候群(いわゆるメタボ)に陥った土壤が多く存在しています。メタボな土壤は環境負荷につながります。よく耳にするのは、「黒くてフカフカな土だ! 良い土だ!」という内容です。半分あっていますが、半分間違っています。土壤がメタボになっているかどうかは、分析をしてみないと分かりません。本講義では、土

壤 pH、土壤の電気伝導率、無機態窒素、可給態リン酸を測定し、得られた値から土壤診断結果を考察していきます。

本講義では…

本講義は、生命環境学部附属農場へ行き、土壤断面を観察するところから始まります。あまり土に触れていない学生が多く、土壤断面を観察するための穴(試行)を掘るのも最初はギクシャクしています。試行が掘れたら、土壤の緻密性や土性、土色、構造などの相違をもとに土層を区分します。その後、サンプリングを行い実験室へ持ち帰ります。実験室での分析は、濃度計算も含めて、非常に多くの実験手技が組み込まれているため、基礎実験の復習に

もなります。また、得られたデータから何が判断されるのか考えてもらい、どのような土壤管理が必要なのかという部分まで考察してもらいます。そして、しっかりと知識と技術が定着するように土壤学実習は、土壤学と連携して理解を深められる内容になっています。

3 年次以降へ…

土壤学実習を通して、基本的な実験手法に加え、得られたデータで土壤診断をするための考察力を習得してもらい、3 年次以降の学生実験や卒業研究に繋げていってほしいと思っています。



実験室での土壤分析の様子



土壤中の硝酸態窒素測定の様子

CLOSE-UP



児童と一緒に喜び、一緒に頑張る そんな小学校の先生を目指します!



山梨大学を選んだ理由は?

高校時代の担任の先生が、生徒一人ひとりに対して親身に関わってくれた姿に感銘を受け、学校の先生になりたいと思いました。山梨大学教育学部は自然が多く居心地が良い地元(山梨県)で自宅からも近いので、進学を決めました。

それに向けた毎週の練習など一生懸命取り組み、最後の定期演奏会では学生指揮者として実際に指揮も振り、とても楽しく貴重な経験ができました。また、野外教育サークルにも所属していて、地域の子供達と一緒にキャンプをしたり、自然が多い山梨ならではの時間を過ごせています!

今、頑張っていることを教えてください!

山梨県の小学校教員になるために、教員採用試験の勉強を頑張っています。自分の兄が山梨大学を卒業して小学校の先生になり、2年目で体育主任として活躍している姿に憧れを持ちました。兄から採用試験についてのアドバイスを聞き、自分にも活かしていきたいと思っています。また、卒業まで残り1年、大学生の今だからこそできることを考え、始めたいと思っています。

大学に入ってみてどうでしたか?

自分が在籍している山梨県小学校教員養成特別教育プログラム^{※1}は、山梨県の地域教材など地元の特化した授業を受けられることが面白いです。その他にも、在籍する教育学部以外の先生や学生とも関わることができ、交流の幅が広がったと感じています。

教育実習で印象に残っていることはありますか?

実際に子ども達を前に授業をしたことや、運動会の練習です。最初はできなかったことが、だんだんできるようになっていく小学生の姿がとても印象に残っています。間近で児童の成長を感じることができ、より小学生の先生になりたいと思いました。

受験生にアドバイスを お願いします!

自分がしていた勉強法は、教科書の内容を要約してノートにまとめ、そのノートが文字で埋まっていく様子を動画(タイムラプス)で撮影する方法です。この方法では、「ここまで頑張った!」という勉強の記録を撮ることがモチベーションアップにつながりました。受験生の皆さん、大学に入ったらやりたいことができると思って、適度に息抜きをしながら受験を乗り切ってください!

サークルや課外活動を 教えてください!

引退しましたが、吹奏楽団に所属し、チューバを担当していました。コンクールや定期演奏会、地域への訪問演奏、



教育実習で共に頑張った仲間と



大好きなチューバの演奏

教員採用試験の勉強を頑張っています!

教育学部言語教育コース3年
(山梨県出身)

林田 俊

PEOPLE

クローズ
アップ
ピープル



これから始まる実習。たくさんのことを身につけて
患者さんに寄り添えるお医者さんを目指します！

山梨大学を選んだ理由は？

元々、地元の山梨で地域医療をやりたいと思っていたところ、山梨大学医学部の先生が高校の授業に何度か講演に来てくれたことで、先生方を身近に感じるようになりました。また、山梨大学の医学部は、1年次から早期臨床体験ができたり、2年次には防災トリアージ訓練が体験できたりと、実践的に学べる機会がたくさんあるところが魅力だなと思い進学を決めました。

医師を志した理由は？

小さい時に見ていた医療系ドラマの主人公のお医者さんに憧れ、直接患者さんと接し、治療していけるところにやりがいを感じられると思ったことがきっかけです。それに加え、オープンキャンパスに参加し、医学の勉強は面白そうだなと感じたことも目指した理由です。

一番印象に残っている授業は？

2年生の時の解剖実習です。本物のご遺体を解剖する授業なので、緊張感と責任感、ご献体いただいたことへの感謝の気持ちを持ちながら挑みました。目の前で直接人体の構造を観察し、教科書では得ることのできない知識を多く得ることができ、一番印象深く、

とても貴重な経験になった授業です。

授業以外で印象深い思い出は？

大学内で行われた「周産期の日」というセミナーが特に思い出に残っています。産科と小児科の先生方にエコー検査や新生児蘇生などといった臨牀的な医療を分かりやすく教えていただき、自分の将来の専門分野について考える良ききっかけになりました。休日のセミナーということもあり、和気あいあいとした雰囲気でもとても充実した一日でした。



周産期の日セミナーで経膈エコーを体験

サークルや課外活動を教えてください！

バレーボール部に所属しています。週に2~3回、医学科と看護学科合同で活動しています。勉強の合間にバレー

ボール部の部員みんなと仲良く活動できることは気分転換にもなっています。



女子バレー部県外大会

実習について教えてください！

病院実習はこれから始まります。今まで座学中心だったので、臨床実習生として患者さんと直接に接することに不安を感じますが、もっとたくさんのが学べると思うと楽しみにも感じています。実習でしか得られないことをたくさん学ぶため、患者さんに関わる機会を積極的に作っていきたくて考えています。

受験生にアドバイスをお願いします！

私は、家だとだらだらしてしまうので、図書館などで勉強をしていました。外では勉強し、家では休むと決めて、オンオフを切り替えていました。受験期間が一番気持ち的にもギリギリする時期ですが、大学に入ったら自分の好きなこと、やりたいことを突き詰めて学べる楽しみが待っている!と思って、受験生の皆さんには頑張ってください。

医学部医学科4年
(山梨県出身)

小澤 菜緒



2年生の時の解剖実習は
貴重な体験でした!

FOOTBALL CLUB

女子蹴球部

甲府キャンパス



女子蹴球部がある山梨大学で
私たちと一緒に
最高の青春を送りませんか?



得点シーン

突然ですが、女子サッカーに興味はありますか?少しでも興味があるかもという方、必見!サッカーを通してとっってもユニークな私たちと最高の青春を送りませんか!?

私たち女子蹴球部は、少ない部員数で3つのリーグ戦に出場しています。近年では、東京・神奈川・埼玉・千葉・茨城・群馬・山梨の7都道府県の合計35大学の女子サッカー部が加盟している最も大きな大会である関東女子サッカーリーグの3部に

おいて、優勝することができました。

皆さん、ここまで聞いて自信をなくしてはいませんか?大丈夫です。サッカー未経験者だった部員も現在は、試合で活躍しています。やる気とスパイクがあれば誰だって上手になれます。

山梨大学は、女子蹴球部がある数少ない国立大学の一つです。勉強と両立しながらスポーツを頑張りたい方、ぜひ山梨大学グラウンドをのぞいてみてください。私たちと一緒に楽しくサッカーを始めてみ

ませんか?マネージャー志望の方も待っています。

日々の活動の様子は、インスタグラムで発信しています。こちらもぜひ、ご覧ください。セイヤ!サー-----!(円陣です。)

DATA

- 部員数: 11人
- 活動場所: 山梨大学グラウンド
- 活動日: 毎週火、水、金、土、日曜日
- 公式 SNS: @yamashashi_football

KEION CLUB

軽音楽部

甲府キャンパス



練習室での部内ライブ

好きな曲を演奏できる!
一緒に楽器をかき鳴らしませんか?



梨甲祭での演奏

軽音楽部は、山梨大学音楽棟3階の大練習室を拠点に、部員が楽器を弾きたい時やバンドの合わせをしたい時、誰かとおしゃべりしたい時に、集まって活動しています。それぞれ部員の好きなバンドのコピーバンドを組んだり、オリジナルバンドを組んだりなど、学年を問わず好きな曲を演奏できるところが軽音楽部の魅力の一つです。他にも演奏の合わせができるギターアンプ、ベースアンプ、ドラムセットやマイクなどがある練習室が

使い放題な環境であることもおすすめポイントです。

部室の大練習室はとても広く、ギターやベース用のミニアンプ、電子ドラムなどが置いてあり、いつでも使えるようになっています。家では思う存分アンプに繋いで練習ができない人も部室や練習室に行けば大きな音を出して練習できます。

約1ヶ月半に一回、練習室や、ライブハウスでライブを行うこともあります。軽音楽部には、大学生になってから楽器を始め

た人もたくさんいますが、もちろん楽器に詳しい人もいて、手取り足取り教えてくれるので初心者の方でも安心です!さらに、練習室には、先代の部員の方が残ってくださったギターなどもあるので、自分の楽器を持っていない方も簡単に始めることができます。

新しいことを始めてみたい方、演奏することが好きな方、大きい音で楽器をかき鳴らしたい方など、どんな方でも大歓迎です!ぜひ、お待ちしております!

DATA

- 部員数: 50人
- 活動場所: 山梨大学音楽棟3階 大練習室
- 活動日: 不定期
- 公式 SNS: X @keion_dairen
@keion_dairen

医学部美術部

医学部キャンパス



梨医祭で

美術の新しい表現を追求する！ 一緒に新しい世界を冒険してみませんか？



DATA

- 部員数：12名
- 活動場所：医学部福利厚生棟
- 活動日：不定期
- 公式 SNS：X @art_club_nashii

私たち美術部は自由参加で不定期に活動しています。主な活動内容は、作品の制作と美術館などを訪れて作品鑑賞を行うことです。

作品の制作は、ジャンルや形式などの制約は設けていません。美術部というと、スケッチや油絵といった絵を描く活動をしている部活というイメージを持たれる方が多いかもしれません。しかし、近年では様々な技術の発展や意識の変化に伴い、美術は絵画・彫刻といった範囲を超越し、版画や写真のみならず、工業製品のような

立体作品や、カレーパーティーのようなリレーショナルアートにまで概念が拡張されています。このようなことから、美術部では、部員が作品を自由に制作し、学園祭で展示することになっています。

現在所属している部員は、絵を描く部員が多いですが、写真作品を制作する部員や、レゴブロック・折り紙のような立体表現を行う部員もいます。今年度は、コロナ禍により中断されていた学園祭（梨医祭）が4年ぶりに開催され、美術部は似顔絵制作や作品の展示を行いました。

その他、美術館に訪れ作品鑑賞を行い、刺激を受けて創作意欲を向上させるといった活動も行っています。コロナ禍以前では、芸術系大学の学園祭を訪問し、作品を鑑賞するという活動を行っていました。このような活動も今後再開していきたいと考えています。

私たち美術部は、新しい表現を追求することも美術の重要な要素だと考えています。一緒に新しい世界を冒険してみませんか？鑑賞メインの部員も大歓迎です！

医学部準硬式野球部

医学部キャンパス



初心者も経験者も活躍できる！ 一緒に勝利の喜びを味わいませんか？



支えてくれるマネージャーさん

野球部というと、上下関係が厳しく、練習が辛そうとスティックなイメージがありますが、そんなことはありません！私たち医学部準硬式野球部は、初心者・経験者関係なく、マネージャーさんも一緒に和気あいあいと野球を楽しんでいます。初心者の方も、先輩が優しく熱意をもって教えているので、誰でも試合で活躍するまで成長できます。

主な試合は、東日本のほとんどの医学部が参加する夏の東医体と、新関東大学準硬式野球連盟が開催する春と秋のリー

グ戦です。群馬県で開催された今年の東医体は、惜しくも2回戦敗退でしたが、来年8月上旬に栃木県で行われる東医体では、今年の主力選手が残った状態で迎えられるため、よりチームの結束が増した新チームで優勝を目指して頑張ります。また、この秋のリーグ戦では2部リーグに所属する6チームの中で1位になることができました。その他にも、コロナ禍で途絶えたOB、OG戦を年2回開催し、卒業生の方々との交流も深めています。

野球の魅力は何といっても、チームプレー

で勝ち取った時の喜びです。野球は、試合に出ている全員に主役の瞬間が回ってきます。ヒットを打ったらチームみんなで喜び合い、接戦のうえ勝ち取った勝利の瞬間は、とても感動します。そんな感動を味わえるのは、OB、OGの皆さんをはじめ、たくさんの方々の応援があるからだ実感しています。さらに良い部活にし、東医体で結果を残せるよう、精一杯頑張りたいと思います。

私たちの活動の様子は、インスタグラムでも報告しているのでぜひ、チェックしてみてください！

NEWS & TOPICS

1

甲府駅北口にて「特色ある研究 PR 展示」を開始

令和5年12月22日(金)から、甲府市との包括連携協定に基づき、甲府駅北口ペストリアンデッキにおいて、本学の特色ある研究 PR 展示「世界の未来を創る研究、ここから」を開始しました。

これは、本学が実施している様々な国内トップレベルの研究について、その取り組みを県内外の方々に広く知っていただくとともに、地域社会とのつながりを深める機会となることを目指すものです。

今回の展示では、国内トップレベルの研究実績を誇り、水素社会の実現に向けて世界をリードしている研究分野である「水素・燃料電池」をテーマに、水素・燃料電池ナノ材料研究センターが新たに制作した「水素がめぐる社会」をイメージしたジオラマや、研究内容等を示すパネル展示を行いました。今後、さまざまな特色ある研究について、展示を行っていく予定です。



展示全体の様子



「水素がめぐる社会」をイメージしたジオラマ
水素で電車や模型が動く

NEWS & TOPICS

2

山梨大学 初！ テレビCM & オリジナルミニ番組 「ナシダイブ～Dive in 山梨大学～」を放送

動画はこちらから



令和6年1月中旬から、本学初のテレビCM & オリジナルミニ番組を、山梨県内のテレビ放送局で放送しました。本動画は、本学の公式 YouTube チャンネルでも公開していますので、ぜひご覧ください。

テレビCM

- 放送局 YBS 山梨放送
- 放送CM 水素・燃料電池編 / グリア細胞編 / 大学全体編



オリジナルミニ番組「ナシダイブ」

- 放送局 UTY テレビ山梨
- 番組名
ナシダイブ ～甲府キャンパス編～
～医学部キャンパス編～
～クリーンエネルギー編～



NEWS & TOPICS

3

令和6年度山梨大学・読売新聞連続市民講座 「知る喜び～ひと・くらし・けんこう～」

申込方法や詳細は
こちらから



本学では令和6年度も読売新聞甲府支局との共催で、「知る喜び～ひと・くらし・けんこう～」と題した全10回の連続市民講座を開催します。聴講無料。令和6年4月～令和7年3月(8月及び1月は休講)、本学の教員が専門の分野を図解等用いてわかりやすく解説します。

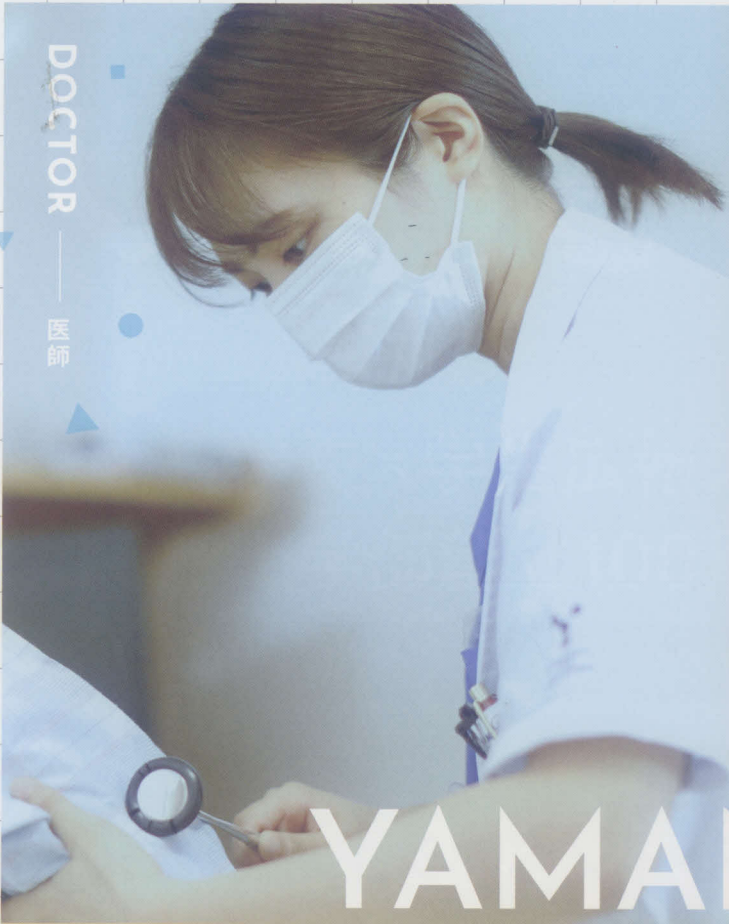
問い合わせ先 |

山梨大学教務企画課連続市民講座担当
電話：055-220-8043
FAX：055-220-8796
☐ koukai-kouza@yamanashi.ac.jp

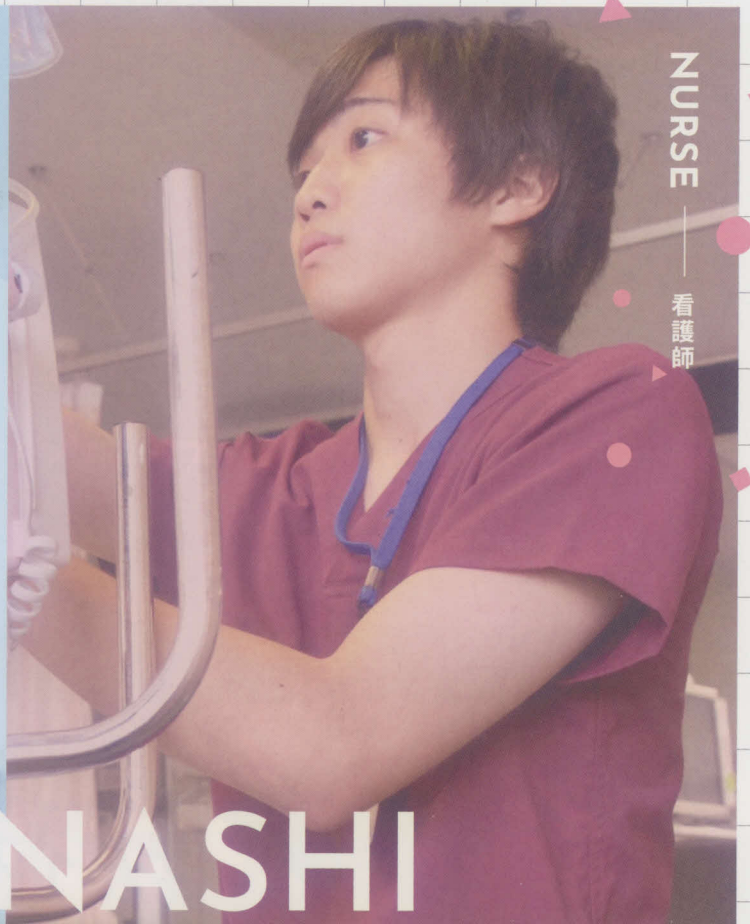
	開催日	演題	所属	講師名
第1回	令和6年 4月20日(土)	ワーケーションとデジタルノマド ～コロナ禍で生まれた、仕事をしながら旅もする新たなライフスタイル～	生命環境 学域	田中 敦
第2回	令和6年 5月18日(土)	持続可能な社会をつくろう ～微生物や植物の力を活かした資源循環リサイクル～	工学域	遠山 忠
第3回	令和6年 6月15日(土)	数学の問題に挑戦しよう！～十七番目の不思議～	教育学域	清水 宏幸
第4回	令和6年 7月27日(土)	子ども虐待に向き合う ～虐待の連鎖を断ち切るために～	医学域	小鹿 学
第5回	令和6年 9月21日(土)	ことばへの気づきワークショップ ～英語を通して気づく日本語～	教育学域	磯部 美和
第6回	令和6年10月12日(土)	スマート農業技術の導入 ～モモとサクランボを対象として～	工学域	小谷 信司
第7回	令和6年11月 9日(土)	燃料電池・水電解研究の最前線 ～クリーンエネルギー社会の実現に向けた地域企業との挑戦～	工学域	内田 誠
第8回	令和6年12月21日(土)	免疫のしくみとアレルギー～超入門編～	医学域	中尾 篤人
第9回	令和7年 2月15日(土)	こころの健康について考えてみませんか？ ～こころの健康を保つためにできること～	医学域	坂井 郁恵
第10回	令和7年 3月15日(土)	人類は宇宙で繁栄できるだろうか。 ～クローンやフリーズドライ精子を用いた人類の宇宙進出～	生命環境 学域	若山 照彦

※今後の状況により、開催方法等変更となる場合があります。

DOCTOR — 医師



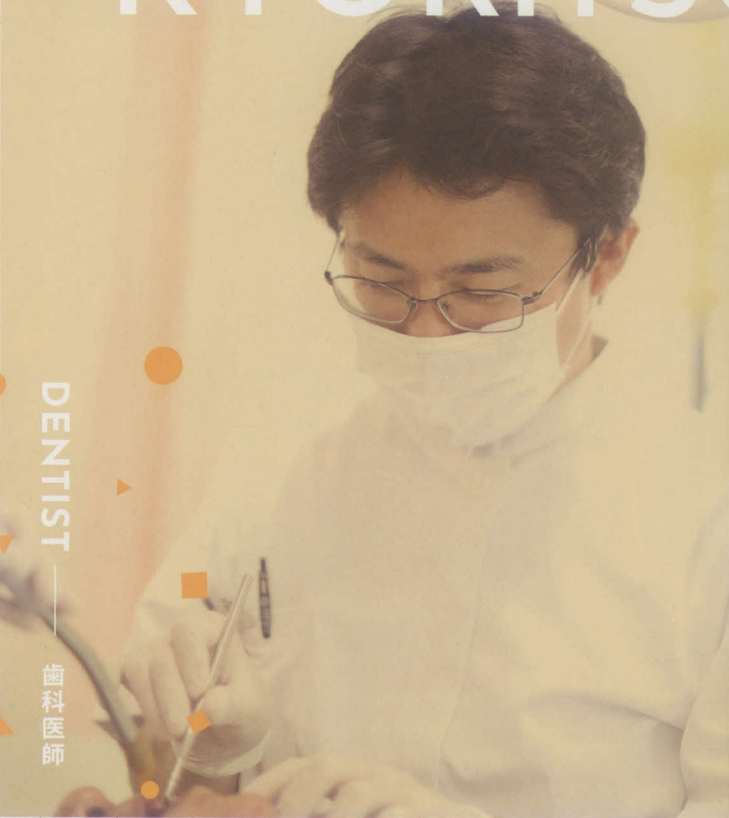
NURSE — 看護師



YAMANASHI KYORITSU GROUP

Recruiting Site

DENTIST — 歯科医師



PHARMASICT — 薬剤師



山梨共立グループ採用募集中

無差別・平等の医療で地域のニーズに誠実にこたえる
プロフェッショナルを養成します。

病院・職場見学やインターンシップも随時受付中！

医療職を目指す方は
採用サイトをチェック！

Check Here!

山梨共立グループの
働き方がここに！
recruitkyouritsu.com



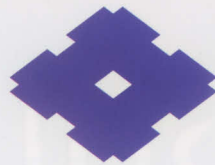
令和6年度 学年暦(年間予定表)

事項	期日等
前期開始	4月1日(月)
ガイダンス等	4月1日(月)～4月11日(木)
入学式	4月5日(金)
前期授業開始	4月12日(金)
前期授業終了	8月2日(金)
夏季休業	8月3日(土)～9月23日(月)各学部で定める
秋季卒業式・修了式	9月26日(木)
前期終了	9月30日(月)

(注) 1月17日(金)は、大学入学共通テスト準備のため休講とする。
※ただし、医学部キャンパスは医学部授業時間割による。

事項	期日等
後期開始	10月1日(火)
開学記念日	10月1日(火)
秋季入学式(大学院)	10月1日(火)
後期授業開始	10月1日(火)
大学祭(医学部キャンパス)	10月25日(金)～10月27日(日)
大学祭(甲府キャンパス)	11月1日(金)～11月3日(日)
冬季休業	12月28日(土)～1月5日(日)各学部で定める
後期授業終了	1月31日(金)
春季休業	2月1日(土)～3月31日(月)各学部で定める
卒業式・修了式	3月19日(水)
後期終了	3月31日(月)

5G時代を支える 通信用デバイスで明日を創る



住友電工
デバイス・イノベーション

SUMITOMO ELECTRIC DEVICE INNOVATIONS

山梨県中巨摩郡昭和町紙漕阿原1000
(本社:神奈川県横浜市栄区金井町1番地)

<http://www.sedi.co.jp/>

広報誌「Vine」のアンケートにご協力ください!

山梨大学では、広報誌の充実を目指し、皆様のご意見を参考とさせていただきたく、アンケートのご協力をお願いいたします。皆様のご意見、ご感想をお待ちしております。

※抽選で10名様に大学のオリジナルグッズをプレゼントいたします。
※個人情報は厳重に管理し、他の目的、用途では使用いたしません。

PRESENT

抽選で10名様に
大学のオリジナルグッズを
プレゼント!



回答フォーム



アンケート回答締切 令和6年5月31日(金)

※当選者の発表はプレゼントの発送をもってかえさせていただきます。

学生広報スタッフ

私たちが今号の制作に協力しました!



令和5年10月6日任命式の様子

今号の表紙

ロゴ

vine

イラスト



「地域の中核、世界の人材」

Vine ロゴ

山梨大学のキャッチフレーズ「地域の中核、世界の人材」をテーマに作成。中核と、世界の言葉のイメージから球体をモチーフに、アルファベットの「I (アイ)」のステムを人材を表し、ステム上部の小さな球体は「地域・中核」を、背後の大きな球体は「世界」を表しています。

表紙イラスト

今回の表紙イラストは、学生が広い教養と深い専門性を身につけ、知と技術における「地域の中核」となり、さらにはグローバルに活躍できる人材として世界へ羽ばたく姿を表現しています。

制作:ぐらいいん屋(鈴木律) ritsukomobo@gmail.com

今回のVineもぜひ楽しんでご覧いただければ幸いです。

(広報企画室)

有料広告を募集します。

山梨大学広報誌Vineに「広告」を出しませんか?

広報誌Vineは、毎年2回、全国の教育機関等に配布しています。ぜひ、貴社の広告、PR活動にお役立てください。詳しくは、本学ホームページをご覧ください。

山梨大学広報誌 ヴァイン

2024 Spring vol.44



本誌に関する
ご意見・
お問い合わせ

山梨大学総務企画部総務課広報企画室

☎ 055-220-8006 ✉ koho@yamanashi.ac.jp



リサイクル適性(A)

この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。